



です。私は愛知県名古屋市近郊の出身です。現在の北陸本線には国内でも最多本数の特急電車が走っておりますが、子供の頃には東海道本線にも数多くの優等列車(特急・急行・夜行列車)が走っておりまして行き先も様々で実に豪華絢爛な布陣でありました。

現在の表記では列車名+何号という呼び方で区別をつけますが(サンダーバード10号とか)、かつて番号は列車名の前に付いてたんです(第1こだま…なんて)。…あ、こんなことはどうでもいい話ですね。



さて、こんな私が寝食を忘れるほど興奮する出来事が1964年10月1日に起きました。言わずもがなの東海道新幹線の開業です。どの位衝撃的だったかと申しますと、それまでの東京行き特急列車の名古屋の次の停車駅はほぼ静岡でした。ところが東海道新幹線が走りだした途端(ひかり号)、次は東京になりました。新しい交通機関が出現した興奮に加えて、遥か彼方の存在に思えた日本の首都が急に“ぐぐっ”と間近に迫ってきたような形容しがたい感覚に襲われた…と言えばご理解頂けるでしょうか。

その後、大学進学とともに当地に参りましたので新幹線は少々縁遠いものとなりましたが、半世紀の時を過ぎて再び新たな幕開けの場に立ち会えることになりました。今年の春は本当に待ち遠しい……反面、少々複雑な想いもあります。50年前は他にはなかった。でも今の日本にとっては、新幹線はある意味当たり前なものになっている…金沢では新しいが、日本全体を俯瞰するとやっと北陸にも開通するのね……金沢-東京間が最速2時間28分と言っても、今じゃ午前6時17分に新青森駅を出発すれば(2度の乗り継ぎが必要ですが)午後4時47分には鹿児島中央駅に到着できる時代です。冷静に考えれば周回遅れの感も否めないね……と多少卑屈な想いも抱いてしまうのです。

■周回遅れ…という言葉は好きではありません。分際もわきまえず偉そうなことを申し上げるようですが、私たちは実験的ではない実証された高度医療の提供を「院是」としております。患者様第一の医療の提供も「院是」としておりますが、それはサービス向上だけに留まるものではなく医療水準も周回遅れではない内容を維持しなければならないと常に意識しております。ここで注意しなければならないことは、高度医療という言葉の意味付けです。当院は厚労省が指定する先進医療を提供する病院ではありません。治験には積極的に参加しておりますので説明と同意の上で一部未承認の薬物や医療器具を用いることはございますが、基本的には保険診療の枠内で医療を提供している病院です。その制約の中にありながらも十年一日同じ医療を繰り返しているわけではありません。本邦には優れた医療従事者があふれています。様々な機会を通じてその人々と交流を重ねつつ自分たちも創意工夫並びに反省と検証を繰り返しながら医療水準を向上させる作業を続けております。

地理的・経済的なハンディをかかえつつもそれらが恵まれた地域と比べて遜色のない高度な循環器領域の保険診療が提供できること……それが「実験的ではない実証された高度医療」であると考えております。



■強引な展開のご挨拶となりましたが、もちろん3月14日開業の北陸新幹線が周回遅れの産物でないことは理解しております。架線周波数が刻々と変化する地域・冬には豪雪となる地域・他に例のない急勾配を走るようになること等を前提に見えないところに最新の改良が加えられているそうです。

当院も有為の人材の協力の元で皆さまの目の届かない所でも弛まぬ改善を続けて参りますので本年も引き続きご愛顧のほどをお願い申し上げます。北陸新幹線を利用して多くの方に来院していただけるような医療機関となれますことを念じて……



病院長 池田 正寿

■新年あけましておめでとうございます。皆さまには恙なく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。僭越ながら心臓血管センター金沢循環器病院を代表して年頭のご挨拶を述べさせていただきます。

この原稿は旧年中に準備しておりますが、当地は昨年12月初頭にまとまった積雪に見舞われました。その後も寒波が次々と襲来するだろうとの予報がございましたので、新春はどのような状況になっているのか不安でございます。初春を寿ぐことができないような状況になっていないことを祈るのみであります。



■新年の挨拶はなるべく明るい話題を選びたいものです。本年は開業まで2カ月半となりました北陸新幹線からお話を始めさせていただきます。1970年に全国新幹線鉄道整備法が制定、1973年に北陸新幹線の建設指示がなされて以来42年の月日が経過して開業の日を迎えることになりました。

実は私、相当な鉄道大好き人間です。これは縁者に旧国鉄関係者が多かったことが発端で、物心ついた頃に身近にあった書物は最新の時刻表であり、漢字は時刻表で覚えたクチ

謹んで

新春の御祝詞を

申上げます



医療の質改善活動 院内発表会 / 全国大会 優秀賞受賞

第7回「医療の改善活動発表会(QC)」が平成26年11月27日(木)、12月4日(木)と2週に渡り開催されました。今年は12例の演題の発表があり活発な質疑応答が行われ大盛況のうちに終了となりました。

■ 11月27日(木) 演題一覧 ■

- ベッドサイドケア表リニューアル～ありのままの6階病棟～
ナダと幸の女王
- 抑制0を目指して
ミトンはずし隊 4階病棟
- 診療費未回収回収業務への取り組み
一般社団法人北陸金融道協会
- アメーバ経営手法導入後の臨床工学部の取り組み
臨床工学部
- QC活動に向けたアメーバの種まき状況
チームドラッグ
- あめーば！ やってもやっても・・・(RI部苦悩の日々)
チームRI

■ 12月4日(木) 演題一覧 ■

- Protect X～手袋しなきゃダメよ～ダメダメ～
HCU infection 連合
- 心リハプログラムの見直し
心リハ業務改善チーム
- チーフも定時に帰りたい！～超勤削減の取り組み～
プライベート充実させ隊
- ラポール(信頼)を大切にした業務構築
Warm relationship
- 待ち時間短縮の取り組み
スピード、アップ、アップ
- みなさんのおかげでした～カテ室での半年間を振り返って～
チーム・カテシツ



2014.11.14(金)、15(土)に福井フェニックスプラザで開催された第16回フォーラム「医療の改善活動」全国大会において、チームRIが優秀賞に選ばれました。

2014.11.14(金)、15(土)に福井フェニックスプラザで開催された第16回フォーラム「医療の改善活動」全国大会 in 福井に参加してきました。

2日間に渡り、4会場で140題の事例発表があり、私は「患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの」のセッションで、昨年院内でも発表させていただいた「患者様の負担を軽減したい(検査前絶食率削減の試み)」を発表し、ありがたくも優秀賞をいただくことができました。

ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

様々な分野からの医療改善事例を聞き、日々の仕事の中で、常に問題意識を

持つことの重要性を改めて感じました。

今回の活動を通して得たものは私にとって大変貴重なものとなりました。

この経験をいかし、今後も患者様の為に何ができるか、医療の安全・質の向上を目指し、無駄の削減、業務環境の改善の為に何ができるかを、引き続き考えていきたいと思っております。

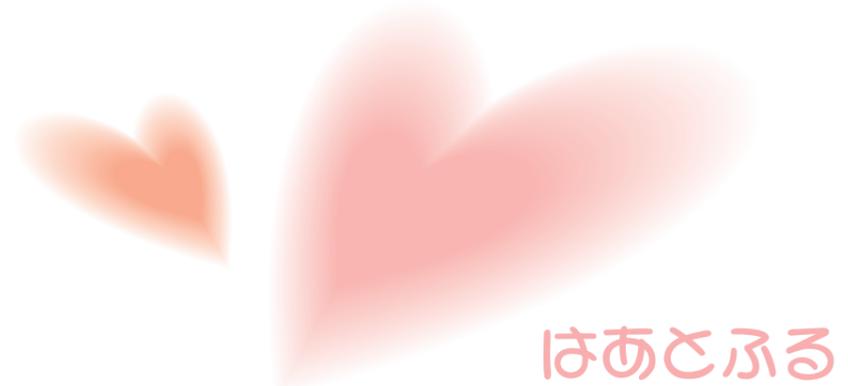
チームRI
安原 香織



■ 病院長 新年挨拶

■ 医療の質改善活動 院内発表会 / 全国大会 優秀賞受賞

■ 地域医療相談室 ☎076-253-2220(直通)



浅ノ川病院グループ 心臓血管センター金沢循環器病院

www.kanazawa-heart.or.jp

new year 2015



■ 病院理念 ■

循環器専門病院として、高度先進医療から老人医療にいたるまで「患者さま第一」のきめ細かい医療をおこないます。

■ 基本方針 ■

1. 優れたスタッフを充実させ24時間フル体制で先進医療を提供します。
2. 患者さまが安心と満足の得られる十分な説明と同意に基づいた治療をおこないます。
3. 病診連携を密にして地域のみなさまの健康と幸せな暮らしを守る病院を目指します。



浅ノ川病院グループ 金沢循環器病院
心臓血管センター
〒920-0007 石川県金沢市田中町は16
TEL076-253-8000 FAX076-253-0008
<http://www.kanazawa-heart.or.jp>
info@kanazawa-heart.or.jp

編集 / 広報委員会 (M) TEL076-253-8000
はあとふる Vol.41 発行日 2015年1月20日